

平成12年

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課題	12 大型林業機械による隣地の裸地化に伴う復元技術の開発		継続 新規	担当	森林技術 センター (業務第I係)	開発 箇所	青井岳国有林 105ち5林小班		
	目的	トラクタ等による集材跡地の早急な緑化を図るため、天然更新による広葉樹林化の復元技術の開発を行い、トラクタ集材跡地の復元技術の指標とする。					開発期間		平成8年度～平成13年度
年度別実施経過		12年度実施報告			年度実施計画				
		実施内容	備考 (評価及び普及指導)						
平成8年度 1, 試験地設定 2, 裸地緑化 3, 播種 4, 発生調査 5, 試験地標示 平成9年度～平成11年度 1, 植生調査		1, 植生調査 緑化実行箇所はススキ等の草本類が侵入している。播種したイチイガシ等は、個体によっては20cm程度の樹高に達している。また、センダンの生長は特に良く1mを越えるものもある。 播種した以外の樹種では、タブノキ・トキワガキ・スギ・クスノキ・ヒノキ・イスノキの発生を確認した。 母樹からの種子飛来発芽試験地は、イノシシによる攪乱のため試験地を移動した。	1, 実施結果 播種したイチイガシ等は、平坦地ではようやく上生長が確認出来る程度までになったが、依然として急傾斜地では、生育不良である。 ススキ等の草本類の侵入に伴い、少量ではあるが木本類の侵入を確認することが出来た。		実施 計画	経費科目			
				内 訳		品名	数量	単価	金額
						物件費			
						役務費			
						人件費	基職 臨時	()人 人	
					計		()	千円	

- (注) 1 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。
 2 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。
 3 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。

試験経過記録

区分	自主課題
----	------

平成11年度実施内容

1, 植生調査

試験地へ通じる林道が通行不可のため植生調査を実行することができなかった。

平成12年度実施内容

1, 植生調査

緑化実行箇所は、ススキ等の草本類が侵入している。播種したイチイガシ等は、個体によっては、20cm程度の樹高に達している。また、センダンの生長は特に良好で1mを越えるものもある。

播種した以外の樹種では、タブノキ・トキワガキ・クスノキ・スギ・ヒノキ・イスノキの発生を確認した。

母樹からの種子飛来発芽試験地は、イノシシによる攪乱により試験地を移動した。

考察

播種したイチイガシ等は、平坦地でようやく上長生長が確認できる程度までになったが、依然として急傾斜地では、生育不良である。

ススキ等の草本類の侵入に伴い、少量ではあるが木本類の侵入を確認することが出来た。

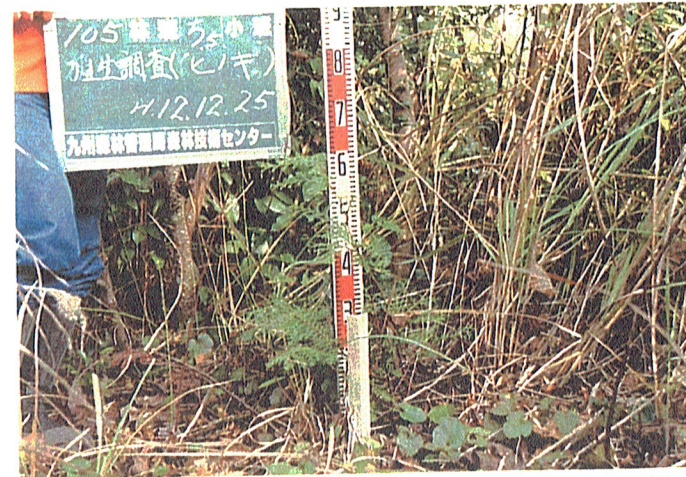
- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
 - 2 状況写真は別途整理する。

状況記録写真

区分 自主

森林技術センター

(様式6)



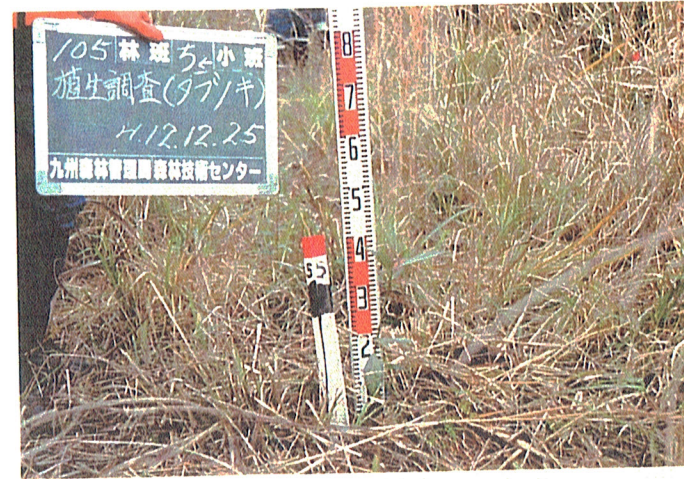
平成12年度105ち。植生調査

状況記録写真

区分 自主

森林技術センター

(様式6)



平成12年度105ちと小植生調査

平成13年

技術開発実施報告・計画

森林技術センター

様式 2

課題 15 大型林業機械による隣地の裸地化に伴う復元技術の開発	目的 トラクタ等による集材跡地の早急な緑化を図るため、天然更新による広葉樹林化の復元技術の開発を行い、トラクタ集材跡地の復元技術の指標とする。	継続 新規	担当 森林技術 センター (業務第I係)	開発 箇所	青井岳国有林 1105ち。林小班				
		開発期間	平成8年度～平成18年度						
年度別実施経過		13年度 実施報告		14年度 実施計画					
		実施内容	備考 (評価及び普及指導)	実施計画 1, 植生調査					
平成8年度 1, 試験地設定 2, 裸地緑化 3, 播種 4, 発生調査 5, 試験地標示 平成9年度～平成12年度 1, 植生調査	1, 試験地調査 平成14年1月調査(野帳別途保管) 人工数: 5.500人 2, 植生調査 緑化実行箇所はススキ等の草本類が侵入し わずかにスギ・タブ・クス・イス等の発生 が確認できた。 播種したセンダン・イチイガシ等は、生育 も良好である。 播種以外の樹種では、タブノキ・イスノキ トキワガキ・スギ・クスノキ・ヒノキ等の 発生を確認した。飛来発芽試験地は、プロット No.5にヒサカキを1本確認した。	1, 実施結果 播種したセンダンは、生長も良く1.6～3.0 mを超えるものもある。 ススキ等の草本類の侵入に伴い、少量では あるが木本類(スギ・イチイガシ等)の侵入を 確認することが出来た。全体的には、木本 類の発生が少ない。約60本程度の発生 今後も植生調査を実施し、木本類の侵入の 状況を調査していく。	経費科目						
		内			物件費				
		訳			役務費				
					人件費	基職	()人		
						臨時	人		
					計		()		千円

(注) 1 課題欄には、技術開発課題名に番号を付して記入する。
2 実施報告欄には、当該年度の開発成果を記入する。
3 備考欄には、開発成果の評価等について記入する。

(様式3-1)

試験経過記録

区分	自主課題
----	------

森林技術センター

平成13年度実施内容

1, 試験地調査 (植生)

平成14年1月調査 (野帳別途保管)

人工数: 5.500人

2, 植生調査

緑化実行箇所は、ススキ等の草本類が侵入しわずかにスギ・タブ・クス・イスノキ等の発生が確認できた。

播種したセンダン・イチイガシ等は生育も良好である。

播種以外の樹種では、タブノキ・イスノキ・トキワガキ・スギ・クスノキ・ヒノキ等の発生を確認した。

母樹からの種子飛来発芽試験地は、プロットNo.5にヒサカキを1本確認した。

考察

播種したセンダンは、生長も良く1.6~3.0mを超えるものもある。

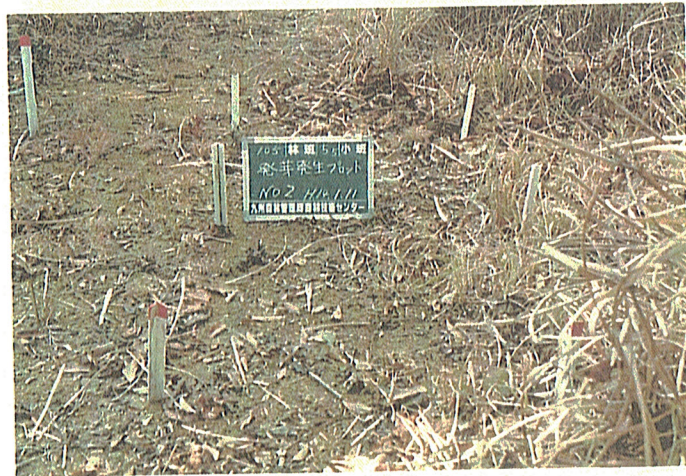
ススキ等の草本類の侵入に伴い、少量ではあるが木本類(スギ・イス・タブ・クス等)の侵入を確認することが出来た。

全体的には、木本類の発生が少ない。約60本程度の発生

今後も植生調査を実施し、木本類の侵入の状況を調査していく。

- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
 - 2 状況写真は別途整理する。

(様式 6)



平成13年度 1105ち⁵発芽発生プロット

平成14年1月11日撮影

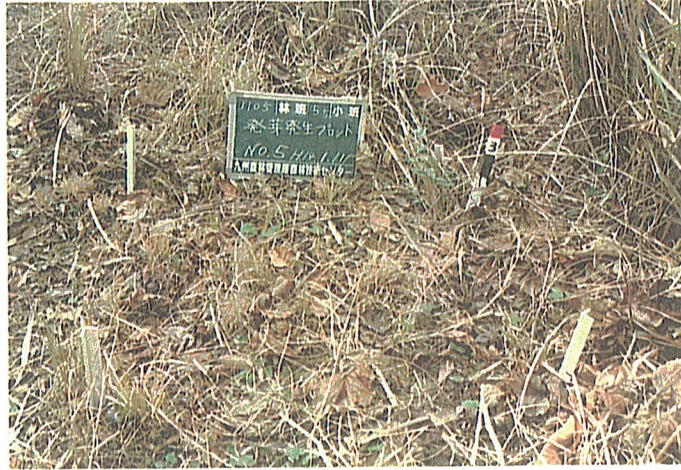
状況記録写真

設定 No. 15

(様式 6)

区分	自主
----	----

森林技術センター



平成13年度1105ち⁵発芽発生プロット



平成13年度 1105ち⁵試験地の状況



平成14年1月11日撮影